

(社)日本民営鉄道協会 第 91 回定時総会を開催

(社)日本民営鉄道協会(東京都千代田区)は、本日5月27日(金)に、「第91回定時総会(東京都千代田区 経団連会館)」を開催し、次の議案を原案どおり承認しました。

[議 案]

1. 平成22年度事業報告および収支決算の承認について
2. 平成23年度事業計画および収支予算並びに会費について
3. 総会決議について
4. 役員を選任について
5. 定款変更案について
6. 顧問の委嘱について
7. 総務委員長を選任について

承認された議案のうち、役員を選任については、会長に石渡恒夫いしわたつねお京浜急行電鉄社長(新任)、副会長に根津嘉澄ねづよしずみ東武鉄道社長(新任)、山本亜土やまもとあど名古屋鉄道社長(再任)、亘信二わたしんじ南海電気鉄道社長(新任)、竹内善一郎たけうちぜんいちろう遠州鉄道社長(新任)、上門一裕うえかどかずひろ山陽電気鉄道社長(再任)、大田哲哉おおたてつや広島電鉄会長(再任)を選任しました。

上條清文かみじょうきよふみ東京急行電鉄取締役相談役は、協会会長および理事を退任し、顧問の委嘱を受け就任しました。

常勤役員は、杉山篤史すぎやまあつし理事長(新任)、柚木浩一ゆのきこういち常務理事(再任)、立木善夫ついきよしお常務理事(再任)、北野忠美きたのただみ常務理事(再任)を選任しました。

また、立木善夫常務理事は平成23年7月31日付けで退任し、後任には平成23年8月1日付けで井上順一いのうえじゅんいちが就任する予定となっています。

なお、総会決議文と役員名簿は別紙のとおりです。

以上

総 会 決 議

このたびの東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、1日も早い復興を心より祈念申し上げます。

さて、今般の東日本大震災では私どもの会員会社においても被害が発生し、懸命の復旧努力により運転再開にこぎつけた線区もある一方、被害規模が極めて甚大で未だ復旧に至っていない会員会社もあります。また、大震災に起因して、関東地区においては計画停電をはじめ政府の節電対策により、更には東北・関東地区においては運転用の軽油の入手困難により、これまで果たしてきた人々の生活や経済・社会活動を支えるという民営鉄道の基幹的な公共輸送機関としての役割に重大な影響を受けたところです。

私ども民営鉄道事業者は、大震災によりこのような影響を受けたところですが、今後とも、鉄道事業の大前提である安全・安心の確保を最優先に取り組み、また、利便性・快適性など輸送サービスの向上にも努力するとともに、今般の政府の節電対策に協力しつつ安定的な運行の継続を図っていきたいと考えております。更には各般の省エネ施策を推進し、環境負荷が小さく、環境に優しい特性を有する鉄道の一層の利用促進が図られるよう、関係者に強くお願いをするものであります。

ついでには、民営鉄道が安全で利便性の高い、かつ、安定的な運行を果たす基幹的な公共交通機関として、また、環境に優しい公共交通機関として、引き続きそれぞれの役割を十分に果たし、更には、今般の大震災により被害を受けた会員各社の早期の完全復旧がなされるためには、我々民営鉄道事業者の経営努力とあわせて様々な面での政策的支援が必要不可欠であります。

このため、国および地方公共団体におかれては、下記事項について特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1. 国及び地方公共団体へのお願い

(1) 公的支援の拡充・強化

①安全・安心対策、②民鉄関係予算等助成制度および税制、③公共交通利用促進・環境対策、④利便性・快適性等鉄道サービスの向上、⑤鉄道整備の円滑化および鉄道とまちづくりの連携、⑥地方民鉄の再生・活性化

(2) 東日本大震災により被害を受けた会員各社の鉄道の復旧にかかる予算の確保および税制の実現

2. 国へのお願い

関東および東北地区において、民営鉄道の安全で安定的な運行に支障が生じることのないような安定的で十分な電力供給の確保

平成23年5月27日（金）

社団法人 日本民営鉄道協会

第91回定時総会

社団法人 日本民営鉄道協会 役員名簿 (平成23年5月27日現在)

会 長	石 根	渡 津	恒 嘉	夫 澄	京 東	京 東	取 締	社 長	(総 務 委 員 長)
副 会 長	山 本	山 本	重 信	土 二	武 古	武 古	取 締	社 長	
〃	亘 竹	内 門	善 一	郎 裕	南 海	南 海	取 締	社 長	
〃	上 大	田 哲	篤 哉	史 一	遠 州	遠 州	取 締	社 長	(地 方 交 通 委 員 長)
〃	大 杉	山 木	篤 浩	一 夫	山 陽	山 陽	取 締	社 長	
理 事 長	杉 山	山 木	篤 浩	一 夫	廣 島	廣 島	取 締	社 長	
常 務 理 事	立 木	木 野	善 忠	美 一					(平 成 2 3 年 7 月 3 1 日 付 け で 退 任 予 定)
〃	北 井	上 順	進 一	進 一					(平 成 2 3 年 8 月 1 日 付 け で 就 任 予 定)
理 事	白 山	田 力	力 正	彦 正	西 武	西 武	取 締	社 長	
〃	花 田	田 正	彦 正	彦 正	京 成	京 成	取 締	社 長	
〃	永 田	須 賀	頼 彦	彦 正	京 王	京 王	取 締	社 長	
〃	大 野	須 賀	頼 彦	彦 正	小 田	小 田	取 締	社 長	(運 輸 委 員 長)
〃	野 本	本 弘	文 壽	壽 一	東 京	東 京	取 締	社 長	
〃	梅 沼	崎 野	惠 哲	也 一	東 京	東 京	取 締	社 長	
〃	沼 小	林 哲	也 一	也 一	相 模	相 模	取 締	社 長	
〃	上 田	成 之	助 夫	夫 一	近 畿	近 畿	取 締	社 長	
〃	角 藤	原 崇	起 幸	幸 一	京 阪	京 阪	取 締	社 長	
〃	藤 竹	島 和	長 二	郎 一	阪 神	阪 神	取 締	社 長	
〃	澤 田	長 二	郎 一	郎 一	西 日	西 日	取 締	社 長	
〃	片 岡	遼 重	敏 一	一 敏	津 輕	津 輕	取 締	社 長	
〃	荒 堀	内 光	一 郎	一 敏	新 京	新 京	取 締	社 長	
〃	堀 笠	原 甲	一 宏	一 敏	秩 父	秩 父	取 締	社 長	
〃	川 岸	比 義	三 夫	三 夫	長 野	長 野	取 締	社 長	
〃	日 村	田 治	徹 寛	寛 一	富 山	富 山	取 締	社 長	
〃	見 奈	美 徹	寛 一	一 敏	三 岐	三 岐	取 締	社 長	
〃	西 田	兼 光	治 信	信 一	福 井	福 井	取 締	社 長	
〃	原 小	嶋 厚	郎 彦	彦 一	之 ち	之 ち	取 締	社 長	
〃	大 真	谷 鍋	康 吉	吉 一	京 福	京 福	取 締	社 長	
〃	真 塩	塚 島	敬 孝	孝 一	神 戸	神 戸	取 締	社 長	
〃	中 松	林 孝	直 孝	孝 一	岡 山	岡 山	取 締	社 長	
〃	中 口	嶋 野	直 孝	孝 一	一 畑	一 畑	取 締	社 長	
〃	末 近	義 治	義 治	治 一	高 松	高 松	取 締	社 長	
監 事	鈴 木	克 隆	久 彰	彰 一	島 原	島 原	取 締	社 長	
〃	魚 佐	伯 野	要 晋	晋 一	熊 本	熊 本	取 締	社 長	
〃	草 野	野 晋	晋 一	晋 一	名 古	名 古	取 締	社 長	(勞 務 委 員 長)
					東 武	東 武	取 締	社 長	(財 務 委 員 長)
					南 海	南 海	取 締	社 長	(技 術 委 員 長)
					京 阪	京 阪	取 締	社 長	(広 報 委 員 長)
					京 東	京 東	取 締	社 長	
					北 陸	北 陸	取 締	社 長	
					伊 予	伊 予	取 締	社 長	
					日 本	日 本	取 締	社 長	
					政 策	政 策	取 締	社 長	
					投 資	投 資	取 締	社 長	
					銀 行	銀 行	取 締	社 長	
							都 市	開 発 部 長	